

オンライン授業で アクティブ・ラーニングを 成功させる Tips

このリーフレットでは、オンライン授業においてアクティブ・ラーニングを成功させるための Tips をご紹介します。ここに取り上げている機能は、同期型授業ツール（例えば、Zoom、Teams など）の基本機能を使用したものです。

Tips を活用して、オンライン授業でアクティブ・ラーニングを実践してみませんか？

作成までの背景

令和 2 年春に、新型コロナウイルス感染防止対策のために、急遽オンライン授業が始まりました。これまで、大学教育において取り組んできたアクティブ・ラーニングによる授業実践の取組を継続させていくために、共同研究者が集まり、ダイナミック・ヒューマン・キャピタル社の中村文子氏による「オンライン研修のための講師養成講座」を受講。その後、学んだ内容をもとに自己の授業等において Tips を実践し、検証を行いました。そして、オンライン授業において実践できるアクティブ・ラーニングを成功させる Tips を開発しました。

本リーフレットは、平成 30 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ（牽引型）」の助成を受けて作成されたものです。

研究代表者

杉田郁代
(高知大学)

共同研究者

中井俊樹・竹中喜一 (愛媛大学)
吉田博・塩川奈々美 (徳島大学)
塩崎俊彦・高畑貴志 (高知大学)

参考文献

中井俊樹 編著「アクティブラーニング (シリーズ大学の教授法)」玉川大学出版部、2015

刊行
2021 年 2 月 22 日

デザイン

SASAMI-GEO-SCIENEC,inc.



本リーフレットに関わる 問い合わせ先

高知大学
大学教育創造センター 杉田郁代
〒780-8520 高知市曙町 2-5-1
Mail isugita@kochi-u.ac.jp

オンライン授業疲れを防ぐために

オンライン授業を受けてばかりいると、長時間のディスプレイ注視や着座姿勢によって、授業に対する集中力だけでなく、心身の健康にも影響を及ぼす可能性があります。授業中に以下のような要素を取り入れることにより、学生における「オンライン授業疲れ」の緩和を図りましょう。

- 1 オンライン以外の教材を使う時間の確保
- 2 休憩時間の確保
- 3 身体を動かすアクティビティ
 - 窓の外を眺める、窓から見たものを共有する
 - 立ち上がる、歩く
 - 腕や肩を動かすストレッチ
 - 休憩中に音楽を流す



学生が安心して授業を受けるために

オンライン授業では、学生が受け取る情報の多くは、画面越しに見える教員からの情報です。下記の要素を取り入れることにより、学生が安心して授業を受けることができるように工夫しましょう。

- 1 教員が授業を楽しむ
少しテンション高めを意識して、教員自身が授業を楽しんでいる様子を見せるよう心がけましょう。
- 2 教員はビデオをオンの状態にする
対面でのコミュニケーションが制限される状況下では、授業で教員の顔が見えることは学生の孤独感の緩和につながります。
- 3 オンライン授業の安心と信頼は、フィードバックから
教員が学生に対してフィードバックを行うことで、学生が受講生として参与しているという安心感を持ち、教員への信頼につながります。
- 4 別端末を用意して、学生への見え方を確認する
どのような画面が共有されているか、音声が通っているか、学生にどのように伝わっているかなどを確認するため、予備の端末を用意し確認を行いましょう。

学生が自発的に動けるように

- 1 ブレイクアウトルームの時は？
グループワークの役割と担当決めの方法を事前に伝える。
- 2 授業前の画面共有で授業の流れや
グラドルールを提示しておく



(例) 指示は正確・丁寧に

グループワークの司会は、誕生日が一番今日に近い人が行う

意見の共有は、氏名のアイウエオ順に行う

授業資料に掲載しておく PDF 等のファイルをチャットで共有し、ダウンロードさせる、など

オンライン授業における注意事項

「流しておくだけ聴講」を予防するために

オンライン授業では、教員が学生の受講する様子を確認することが難しいため、授業ツールにログインしても音声を聞き流すだけで別のことを行うような「流しておくだけ聴講」が見られます。長時間にわたって一方的に聞くだけの受講では、学生のモチベーションを低下させるどころか、授業に参加しない状況を放置することにつながります。こうした状況を防ぐために、下記のような要素を授業内容に取り入れてみませんか。

- 1 授業途中に予告をせずに ...
 - 出席確認
 - クイズの出題 (授業内容に関する簡単な質問)
 - 投票を実施
 - ブレイクアウトルームを活用したグループワーク
- 2 授業終了時 (5 分程度で) 授業の気づき (学び、ポイント) を LMS などで記述・投稿させる

万が一のトラブルの時のために

オンライン授業にはトラブルはつきものです。例えば、教員側のネットワークの遮断や、音声トラブルなどが挙げられ、学生側も同様のトラブルが見られます。予期せぬトラブルを事前に回避できれば良いですが、そうもいかない時があります。トラブルを予め想定して、授業に臨みましょう。

- ネットワークに関するトラブル -

- 1 ネットワーク不調による授業の中断
(対策) 授業中断における対応策を初回授業時で確認しましょう。例えば、中断された授業の代替措置の提示 (補習、レポート、課題など) や、トラブルが生じた場合の教員に対する連絡手段の提示、障害発生時、教員からのメール連絡を確認するよう指示しておくなどが考えられます。
- 2 映像がカクカクする、時々止まる
(対策) ネットワークの通信速度や不安定さが影響している可能性があるため、無線接続を有線接続に替えてみましょう。また、ツール利用者が集中することでサーバーがパンクすることもあるため、別の会議ツールに切り替える方法も検討しましょう。

- 音声に関するトラブル -

- 1 音飛び、音声が不安定になる
(対策) データ通信量が多く、処理が遅くなっている可能性があります。通信量を下げするために参加者のビデオを off にしたり、パソコンの処理能力を上げるために立ち上げているブラウザを閉じたりしてみましょう。
- 2 ハウリングする
(対策) 参加者が同室で受講している可能性があります。いったん全員をミュートにした上で、同室で受講している人にイヤホン着用や、片方のアカウントのミュートを指示しましょう。

オンライン授業では、学生がオンライン授業に対して不慣れであることから、様々な課題が生じます。この課題は授業の進行に大きな影響を及ぼすことがあります。授業前の準備やグランドルールの共有などをしっかり行うことにより、円滑に授業を実施しましょう。

1 授業全体の流れを把握・整理するために、タイムスケジュールを用意する。また、適切なタイミングで適切な指示を出せるように指示事項を事前に準備する。

2 「授業のグランドルール」を作成しておく。

グランドルールの例

- カメラはオン、(マイク)はミュートを基本
- 全ての参加者が発言できる
- 質問や意見は(チャット)に入力する
- 自分の考えと異なる意見も尊重する
- (ブレイクアウトルーム)ではマイクをオン
- 知り得た個人情報などを口外しない
- オンラインでの学習や交流を全力で楽しむ

3 スムーズにセッションに移れるよう、ブレイクアウトルームを予め準備しておく。

4 授業前にルームの参加者に向けて指示する画面(スライド)を作成しておく。グランドルールやその日の授業に関する連絡などの情報共有が可能。

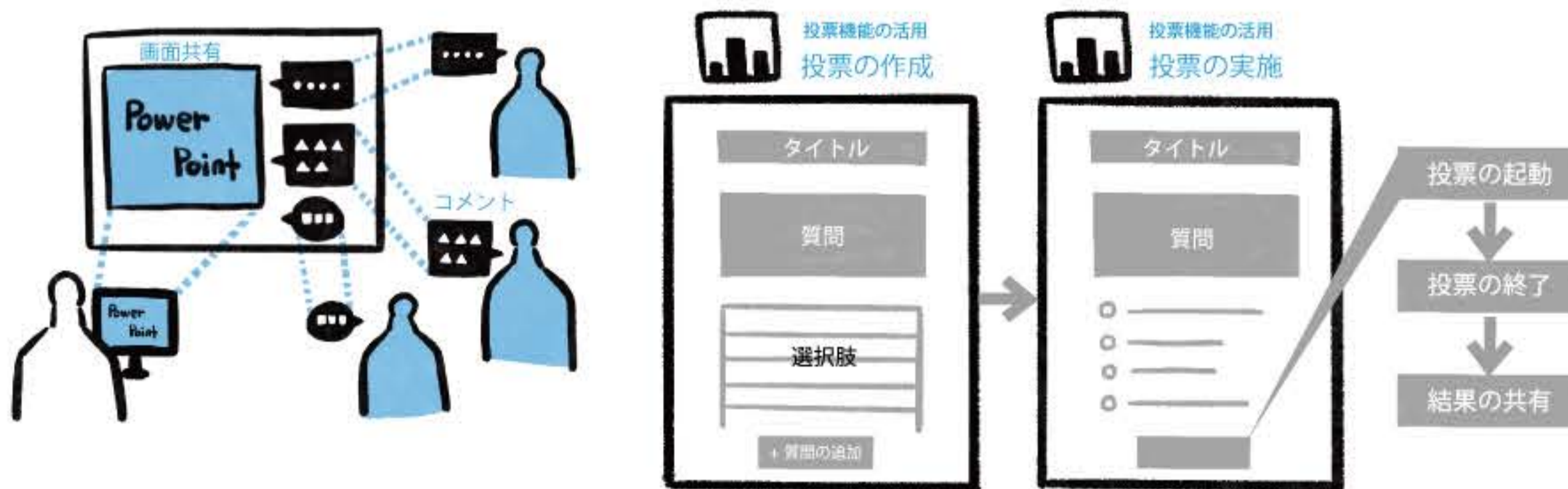
1 アイスブレイクを用いて学生の不安を軽減させ、ワークを通じてツールの基本操作を理解させる。



2 他の学生について理解する。(匿名性の高いゆるい自己開示)

3 休憩時間の質問・雑談タイムを設ける。

4 授業理解度の確認。(投票機能の活用)



オンライン授業では、他の学生の様子がわからないことが学生の不安につながっているようです。不安を軽減するためにも、このような要素を取り入れてみませんか。

1 Zoom等の同期型授業ツールの基本操作を説明する。

2 学生の理解度や参加状況を把握する(操作方法の確認)

- クイズを実施する(例えば、先入観があると間違えるクイズなど)
- 授業におけるグランドルールを確認する
- 質問タイムを設ける



3 調べ学習を導入する。

- 学生に情報収集の作業をさせて集中力を維持する
- web検索機能を活用し発表させる

4 学生との距離を縮める。

- カメラをオンの状態
- フィードバックを心がける
- いつでも質問を受け付ける
- アカウント名を愛称(呼ばれたい名前)に変更してもらう(教員も含め)



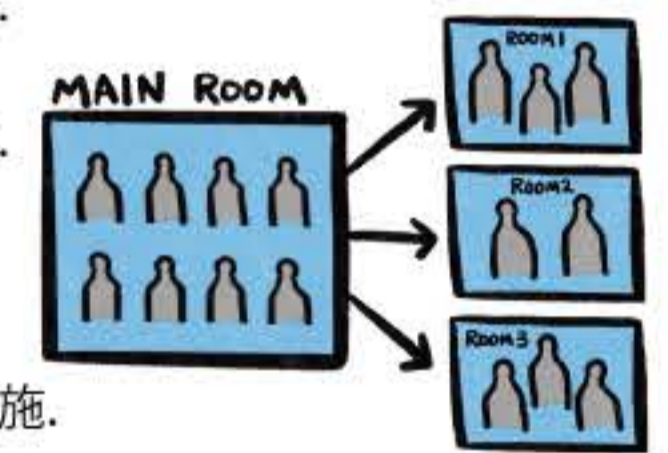
オンライン授業でアクティブ・ラーニングを成功させるTips

1 ペア・グループで話し合いをする。

2 ペア・グループで課題を作成する。

3 グループで課題を発表する。

4 ペア・グループで確認テストの実施。



アイスブレイクの例

- バースデーチェーン
- ×クイズ、Yes/Noクイズ
- Youはなぜここに?
- どこから来た?
- 決まったテーマで1人30秒トーク

オンラインでグループワーク

- ワールドカフェ
- ジグソー学習
- フィッシュボウル
- プレーンストーミング

ブレイクアウト機能の活用

Zoomには「ブレイクアウトルーム」という参加者をグループごとに個別のルームに振り分ける機能があります。この機能を活用して、学生同士の双方向的な学びを促進しましょう。

(活用例) ポスター発表形式のグループ成果報告会

1 ホストが学生をルームに振り分ける



4 発表に関する評価をクラス全体で共有

*事前準備としてグループごとに発表用ポスターやスライドを作成する

2 各グループは発表者1名を残し他のルームへ任意に移動し発表を聞く

3 発表者は所属グループのルームにて画面共有を行い、プレゼンする

*発表時間の制限を設定する *発表者は交代制にし、全員に発表の機会を作る